THE 51ST KOREA JAPAN STUDENTS CONFERENCE

2013.2.20-25 in 大邸

もくじ

団長挨拶…３ｐ

Ex.概要…４ｐ

・開催の目的

・協力団体・協力者

・場所

・参加者＆役割紹介

日程及び構成…６ｐ

事前勉強会報告…７ｐ

日別報告書…７ｐ

フリーテーマエッセイ…１８ｐ

写真集…３１ｐ

編集後記…３３ｐ

団長挨拶

こんにちは。K.J.S.C.の団長をさせていただいた関西学院大学 2 回の村上昂平です。団長挨拶ということで、今年の K.J.S.C.の内容をふまえつつ話していきたいと思います。今回の K.J.S.C.は二度目の参加で、二度目の団長になりました。前回は団長として至らぬ点が多くあり、周りにたくさん迷惑をかけてしまったこともあったので、2 回生になり成長した自分をためしてみたい。去年のリベンジをしたいと思い団長をやらせていただきました。今回は承認式、文化紹介、勉強会など全体的に成功できたと個人的に思っています。自分でかかえこまず、皆に手伝ってもらったおかげで成功できたのだと思います。メンバーの皆様ありがとうございます。リーダーといっても自分はぐいぐい引っ張っていくタイプではなかったので、一番上というより一番下から周りを押し上げれるようにしたいと勤めました。もう少しリーダーシップというか引っ張れる力が必要だったかなと思っています。

プログラムに関して I.S.A.全体の韓国プログラムは四度目の参加となりました。それだけ自分にとって、この韓国プログラムは魅力的なものでした。隣国でありながら、その国民性や文化など似た部分もあるのですが、全く違う部分もありとてもおもしろい一面を見ることができます。いつも韓国人は情熱的で、いつも韓国人のような人間になりたいなと思っています。去年は観光が多かったのに対し、今年はディスカッションやフリートーク、飲み会での配慮もあり日本人メンバー全員が固まりすぎることもなく韓国人メンバーとしっかり交流できたのではないかと思います。文化紹介もお互いにしっかり練習できていて、今まで参加した中でも一番のクオリティーだったと思います＾＾この K.J.S.C.を通して韓国の魅力を感じ、韓国の文化や歴史などを学ぶ人が増えると嬉しいです。そしてまた韓国プログラムに参加してほしいです。

最後に、K.J.S.C.のメンバーのみなさんありがとうございます。皆の協力があったからこそ、こうやって楽しいプログラムになれたと思っています＾＾お互いしっかり交流の意識を持って参加してもらえたからこそいいプログラムになったと思います。韓国プログラムまた参加すると思うんで、そのときはよろしくお願いします。

神戸支部　関西学院大学２回　村上昂平

Ex概要

▼開催の目的

　世界情勢を多面的に見ると決して安全とは言えない国際関係の中で、本当の交流を目指した学生同士の韓日学生会議、即ち、Korea　Japan Student Conference。限られた期間の中で私たち２４名のI.S.A.メンバーはかけがえのない仲間達と国籍関係なく友情を築き、そして日韓の交流を深めてきた。一個人では解決できないような日韓の間にある政治的問題もいつか、この交流によって、I.S.A.の理念でもある、わだかまりのない世界平和を構築できたらという願いも込めてここに K.J.S.C.の開催目的が存在すると考える。

▼協力団体・協力者

　YoungNam University　ISA 大邱支部・K.J.S.C.　Staff
（Organization Chief　：Kim Tae Wan）

▼場所

K.J.S.C.…大韓民国，大邱広域市，□□□□□□□□□□□
http://tour.daegu.go.kr/kor/sleep/pension/1186834_5090.asp
勉強会…大韓民国，釜山広域市，東新ホテル
http://www.pusannavi.com/hotel/241/map/

▼参加者・役職紹介

【団長】村上昂平

K.J.S.C.の日本人リーダーで皆をまとめる仕事です！むらむらは昨年に引き続き団長でした^^

【副団長】儀間真和・小山透

団長のサポート役です！！

【国際渉外】坂口晴子

主にメールで相手国と連絡をとります。日程やプログラムについて日本人参加者からの質問や相談を尋ね、参加者全員に情報を共有します。

【チケット】池田早希・藤井千賀

安全で安価なチケットを探し、参加者に情報を提供します！

【財務】中山聡・石井志帆

全体に関わる財務を管理します！主に結団式交通費の領収書集め、返金や参加費の収集などです。

【報告書】植村侑希・山田萌実・安保夏絵・姫野玲

帰国後から次の全国合宿までに報告書を作成します！メンバーから原稿を集め、編集します。

【勉強会】今里基・新田裕美・菅原彩織・小澤一生

プログラムまでに参加者でテーマを決め韓国に関する勉強会を行います。今回は関西で１回、釜山で１回の計２回行いました！

【文化紹介】神田ありさ・白水菜々・飯田野乃・森井圭一郎・片山茜

Ex.中に行う文化紹介(ダンス)やスイーツパーティーを中心になって企画します。

【広報】浅野雅奈・青木朝美

帰国後の全国合宿で使用するムービーの作成等を行います。

【パスポート】井上鈴菜　参加者のパスポート、海外保険の情報を集めます！

51st Korea Japan Student Conference

2/20 Wed	2/21 Thu
韓国人メンバーと合流@大邱	朝食
ホテルへ移動	ミッションゲーム①
スイパ ♫	@seomoon マーケット
	昼食
	ミッションゲーム②
	@dalseong 公園
	夕食

2/22 Fri	2/23 Sat
朝食	バスで gyeongju へ
ディスカッション	bulguksa(世界遺産の寺！)
昼食	昼食
Songpyeon 作り♪	millennium 公園
Free time	夕食(ssambap)
夕食	

2/24 Sun	2/25 Mon
朝食	朝食
ディスカッション	rolling paper
昼食	ホテル出発
Free time	
文化紹介 dance~~	
夕食	
Last night✕	

事前勉強会報告

まずホテルに集合しました。私は１回目の勉強会に参加していなかったので、初対面の人も多く、打ち解けられるか心配だったけれど、皆気さくな人で、すぐに仲良くなることができました。一度部屋に荷物を置きにいって、勉強会を行いました。私はまだ発表していなかったので発表し、韓国についての理解を深めた後で、ダンスの練習を始めました。私は少女時代のＯｈの担当でした。ＰＶを見てフリを覚えたつもりだったけど、全く覚えてなかったり、フリが間違っていたりして大変でした。またフリの一つ一つが難しくて、苦戦しました。フォーメーションも難しくこの日の練習では、ダンスを完璧にすることはできませんでした。ダンス練習終了後は、皆で夕食を食べにいきました。海鮮鍋を食べにいきました。初めての本場韓国の味だったので、辛かったけど、おいしかったです。夕食終了後は、自由時間だったので１回生みんなで買い物に行ったり、カフェに行ったりして、有意義な自由時間を過ごしました。初めての韓国で戸惑いもあったけれど、友達に助けられながら韓国１日目である勉強会を終えることができました。次の日から、本格的にK.J.S.C.が始まるということで、次の日がやってくるのを楽しみにしながら、勉強会を終えました。

（神田ありさ）

日別報告

▼ビフォア

私はプログラム前に、２月 13 日～19 日まで釜山に 1 週間ビフォアで滞在していたのですが、海が綺麗なリゾート地である海雲台や繁華街の西面など様々な観光地に行き沢山の美味しい韓国料理を食べ、釜山での旅を満喫しました。滞在先は韓国人のお友達のアパートに 1 週間宿泊させて頂きましたが、ご両親や友達の兄弟が凄く優しくとても可愛がって下さいました。プレK.J.の勉強会、宿泊先は、釜山の東新ホテルというとても格安なホテルでした。メンバー全員が揃い顔合わせしたのがその日が初めてでした。改めて自己紹介をして、韓国の経済について勉強しました。その後は、文化紹介のダンスをグループ毎で練習して皆で夜ご飯を食べに行きホテル周辺のお店を見てショッピングをして帰ってきました。友達と一緒にいるだけで本当に楽しかったです‼これからプログラムだというのにビフォアで満喫しすぎたために少し満足して終わった気持ちにもなっていました。（飯田野乃）

ビフォアは２日間、明洞に居ました。私の人生の中での初海外が、今回の韓国でした。

韓国に着いてすぐに驚いたのは、日本語を話せる人がすごく多いことです。また明洞では、日本語を皆話して客引きを行い、日本人だと分かると引っ張ってでも店に連れ込もうとしたり、日本人限定で無料のパックを配ったりと、韓国人の商売根性の逞しさ、日本人の韓国コスメへの需要の高さが伺えました。一方で、他の店や他の人に目を向けると、販売員が携帯を勤務中にいじったり、お喋りをしたり、座っていたり、先程の販売意欲と勤務態度の質が結び合わない点もあったりして二重に驚きました。日本では、韓国語で客引きしているお店なんて見たことが無いし、路面での客引きさえも見かけませんが、勤務態度の質はとても高いです。日本人の真面目で臆病な接客との対比が見れてとても面白かったです。韓国人の話上手で人を巻き込むという、人の懐に飛び込む度胸を日本人は持たなきゃいけないなあ、とも考えさせられました。
そして、私は正月明けにあった勉強会に帰省していたため参加できず、釜山での勉強会が皆との初顔合わせでした。前回の勉強会でほとんどの人が仲良くなっているのかなあ、と思うと正直不安でしたが、始まってみるとそんな不安もすぐに消えました。勉強会の発表の際も、皆真剣に聞いてくれて緊張はしましたが、嬉しかったです。逆に、皆の発表を聞く中で、全然知らない韓国の文化や習慣があって、K.J.が始まる前までに学べたという点で大きな意義があったなあ、と思いました。ダンスの時は、皆で一生懸命練習に励んだので、たった数時間で完成形まで持っていくことができて、一人でビデオを見ていた時とは比べものにならず、協力して教え合うことや全員揃ってダンスをする大切さを知りました。夜ご飯を皆で食べに行った後は釜山の観光も出来て、勉強会をするときはする！遊ぶ時は遊ぶ！という感じも個人的にすごく好きでした。今振り返ると、K.J.が始まってから、「初めまして」という感じだったら、こんなにすぐに皆とは馴染めなかったなと思います。やっぱり、前日に集まったからこそダンスの質や日本人の結束力を固めて K.J.に参加できたんだな、と感じます。
（白水菜々）

▼１日目（２月２０日）

20 日は移動が多かった日でした。ホテルに付くとK.J.S.C.５１の開会式の会場に入りました。そこで初めて韓国人のプログラム参加者としゃべりましたが、感じたのは韓国人参加者は、日本のことにとても興味を持っていて、日本のことについていろいろと知っていることです。こちらも韓国について知っていることを話したら喜んでくれてよかったです。開会式が終わると夕食の時間でした。やはり、韓国には欠かせないキムチがあり、日本で食べるものよりも辛かったです。ほかにも辛い料理がたくさんありました。あまり辛い物は得意ではないので、できるだけ辛くなさそうなものを選んで食べました。夕食が終わるとスイーツパーティーが行われました。最初に韓国側が、韓国でよく食べられているお菓子を紹介してくれました。一番驚いたのはかっぱえびせんに似たお菓子があったこと

です。パッケージも味も日本のと同じでした（笑）他にも韓国で有名なお菓子を食べることができて楽しかったです。日本側はそれぞれの支部で有名なお菓子を持っていきました。岡山のきび団子や、九州の通りもんなどの和菓子は好評でした。わたぱちなどの駄菓子も珍しがって食べてくれてよかったです。そうしてスイーツパーティーが終わると、ついに飲み会が始まりました。韓国では飲み会ゲームが多くあり、負けた人がお酒を飲むというかんじでした。初日なのにもかかわらず、大量のお酒が用意されておりびっくりしました。あったお酒はビールとソジュでしたが、ビールは日本のよりも薄いなあと思いました。日本での飲み会は韓国のようにゲームはあまりしないので、新鮮で面白かったです。さすがにずっとゲームで飲み続けるのは大変だったので、途中で抜けて話をしていました。韓国についての話などいろいろなことを聞けて楽しかったです。こうして飲み会で 1 日目が終わりました。初日から飲み会でハードな 1 日でした。（中山聡）

プサンからテグへ移動！テグ駅に着くと韓国人メンバーがお出迎えしてくれました。再会を喜び合う時間。これもI.S.A.のプログラムのダイゴミですね♪

４０分ほどバスに乗り、山の上にあるユースホステルに到着。ホールですぐに開会式が始まり、初日からいきなりスイーツパーティー！！韓国側のお菓子は、オニオンりんぐやかっぱえびせんをはじめ、揚げ物スナック系が多かった気がします。隣に座っていた韓国人メンバーの女の子が「どれが一番好き？」と聞いてくれて、「オニオンりんぐ！」と答えると、気を利かせてオニオンりんぐを山盛り追加してくれました(笑)嬉しかったのですが食べきれませんでした(笑)　一方、日本人メンバーが用意したお菓子は、きのこたけのこの山、うまい棒、わたぱち、岡山のきびだんごなどでした。日本人のスイパ担当が説明するねるねるの作り方を真剣に聞いてくれていました。また、ひもQのグミが一番ウケがよかったように思います。喜んで食べてくれて嬉しかったです。初日から、割とすぐに仲良くなれた気がします。スイパの人ありがとう（*^_^*）

夜ご飯は、ユースホステルの食堂で食べました。白米、キムチ、スープ、赤い肉、などなど韓国料理の代表的なメニューでした。キムチ辛かった、、、！

そして夜はビール、ソジュで飲み会でした。私の班はゲームで韓国側のオガチを集中攻撃して盛り上がっていました。初日から結構激しい飲みでしたが楽しかった、、、！(笑)（井上鈴菜）

この日一番驚かされたこと、ズバリそれは釜山から大邱の移動のことだろう。二つ驚かされたことがある。予約していたはずの列車がみんなKTXと思っていたら、実は日本の急行にあたるムグンファw運賃がかなり安かったのでなんでだろうと思っていたらそういうカラクリだったという(^_^;)そしてもう一つがまさかの席がバラバラ事件。どうやら予約が失敗していたようで、本来乗るはずの列車が予約されておらず、皆乗れるけどこのままだと席が全員バラバラだよと言われてしまった。そこで次の列車に乗ることに。でもこれが

かえって良かったのかなと思う。カフェでまったりできたので（・∀・）
　そして１時間後ようやく列車に乗車。個人的に驚いたのは若い子達は元気だなぁということ。自分の隣は儀間ちゃんで、二人共出発してしばらくしたら爆睡だったけど、１回生とか２回生はトランプしたりして終始元気だったのもいた模様。５回生にもなると年をとるんだなぁと実感してしまったw
　しばらくすると大邱に到着。そこでは過去に参加したメンバーはコリアンと感動の再会。そして初めて参加したメンバーはポカーン(゜д゜)でもスイパまでにはすぐに仲良くなり、そして気がつけば夜が明けていましたとさ・・・
（今里基）

▼２日目（２月２１日）

　２１日は大邱の市場に行って、ミッションゲームをして、お金をゲットして、市場や街でおいしいものを食べたりしました。韓国人参加者の方が、いろんなところに案内してくれました。おいしい食べ物をいっぱい食べさせてもらって、満足しました。ミッションゲームでは屋台に売っている、特定の商品を見つけにいったり、公園に行って、お金を手に入れるためにチームで知恵をふりしぼったり、全力で走ったりしました。タクシーに乗って、大邱の市街地に移動しました。そこで私は、晩ごはんの焼き肉を食べました。お肉は豚肉が多くて、辛い味付けのお肉もおいしかったです。そのあと、バスに乗って、泊まっているホテルに帰りましたが、そこで韓国人のおじさんに話しかけられておもしろかったです。韓国語で話しかけられて、言っている意味はよくわかりませんでしたが、なんかとても陽気なおじさんで楽しかったです。（浅野雅菜）

　K.J.2 日目！みんなでミッションゲームをしました^^ 勝ったチームには夜ご飯のお代がもらえるという♪
まず始めに宿泊先から近くの公園に移動。チームごとの代表が相撲的な片足立ちでぶつかり合うゲームをして出発する順番を決めました。私のチームは３番目？だったけど結局１、２番目のチームと一緒にバスで市場に向かってミッションゲーム開始！まず、The café というカフェを探して、そこでもらった３つの写真と同じものを市場から探すことに。チマチョゴリのマネキンと、ナイキの靴、犬のぬいぐるみ(ブラウニーという名前らしいです)を探しました。探している間も市場をいろいろ見ることができて面白かった^^めっちゃ早く見つけられたと思ったけど１番ではなかったみたい笑　お昼には、市場の中でカルククスという、細いうどんみたいなものを食べました。他の人は全然辛くないって言っていたけど、辛い物が苦手な私には少し辛かったです。午後は動物園を兼ねた公園で再びミッショ

ンゲーム！公園内に５つ宝物が隠されていて、韓国人の５人の方から出されるミッションにクリアしたらその隠し場所のヒントが得られるというもの。どのミッションも難しくて、試行錯誤しながらみんなで１つ見つけることができてとても面白かったです。夜は、焼き肉からの買い物でした！韓国コスメが安いっていうのはよく聞いていたけど、正直こんなに安いと思わなくて、おまけもやたらすごくて、店舗の外装もすごくかわいくて、とても感動しました。(笑)今までの韓国のイメージが結構覆された 1 日でした！5 日間で 1 番楽しかったです^^　（藤井千賀）

▼3日目（2月22日）

22 日、毎日のことながら前夜の飲み会の疲れもあってか、みんな起床時間に起床できず。外は、大雪。午前中の予定はつぶれて、昼から行動を開始しました。まずは、ディスカッション。まずは自己紹介から。1、自分の趣味や
家族について。2、自分がどんな人生を送ってきたか。3、自分が最も幸せに感じる瞬間や落ち込んだり、怒ったりする瞬間について。4、自分の性格について。みんなが感じることかもしれないけど、やはり日本語で話すのと違って難しかったです。日本語でなら 10 話せるのに、英語だと 2 しか話せない自分に情けなさを感じました。しかし、言い回しや単語を悩んでいるときに日本人メンバーが助けてくれたり、支えてもらったのがすごく有り難かったです。あとは、流暢な英語が喋れていないけど、真剣に耳を傾けてくれる韓国人メンバーの姿勢にすごく感動しました。みんなの自己紹介が終了してから、本格的なディスカッションへ。議題は全部で三つ。デジタルかアナログ、お互いの国のドラマや音楽について、最後に国や性別などの違いについて。韓国に行った日本人の女性はよく、韓国人男性は優しい、レディファーストなどといいます。その理由について尋ねてみると、とくにこれといったことはなく、優しい人もいればそうでない人もいる。との回答でした。このように両国の間にはまだまだ勘違いや先入観がたくさんあると思います。もっといろんな話題について、深く話してみたくなりました。ディスカッションのあとは、韓国の米粉パン？みたいなのを作りました。粉からみんなでこねて、その中にきな粉のようなものを入れ、蒸して完成だそうです。出来上がりはパンというか、もちもちとしたどちらかというとお餅みたいな感じでした。この日は外に出ず、ユースホステル内での活動でしたが、ぐっと仲良くなれたのではないでしょうか。（石井志帆）

この日はディスカッションを行いました。自己紹介を中心にミッションゲームなどで打ち解けていた仲間ですが、新たな一面を発見できたいい機会でした。ここで重要になったのが英語力！それがない僕はなかなか韓国人には伝わらない。そういうときって韓国語のできる仲間って大事ですね。もえみさんとののちゃんが韓国語に翻訳してくれました。英語を真剣がんばろうって思いましたね。

一通りディスが終わった後はソンピョンとかいう韓国のお餅作り。お餅と言っても日本とは全然違って米粉をひたすらこねる。最初は手袋つけてこねる。そのうち素手でこねる。あのとき手ちゃんと洗ってったっけ？蒸したから大丈夫なはず！晩に蒸し上がっていたので食べましたけど美味しかったですよ。餅というより団子に近いかな。

この日はなぜか飲み会の食事が豪華でトンカツとか茶碗蒸しとか出てきました。相変わらず辛い系のものもありましたが、今までにも増して飲み会盛り上がりました。
韓国の夜は長いのです。。。（小山透）

前日の飲み会が夜遅くまで続いたため、11:00am 頃起床。予定されていた午前中の Disucussion は午後に変更されて、ホテルの部屋で朝食兼昼食のお弁当。このお弁当、なぜかハンバーグとかプルコギとか、おかずの下全部にスパゲッティーが敷かれてた。w　おなかいっぱいになってちょっと休憩したらホテルのホールに降り、班ごとに分かれて Disucussion 開始～！まずは Introduce youself。一人づつ年齢、家族構成、趣味、特技、etc…を話したら質問とかコメントとかをして次の topic に。次は Tell us your lived process。私の班は一人一人紙に自分の人生の良いとき悪いときを棒線グラフで表現するというのをやった。このとき日本人メンバーのグラフはほぼ直線に近かったのに対し、韓国人メンバーはグラフがすごく上下していた。その理由は兵役で、みんな兵役の時に最悪点に達していた。
そして次の topic は自分の人生で最も幸せだったときや悲しかったとき等を話し合った。
Discussion が終わると次はお餅作り！韓国の伝統的なソンピョンというお餅を作った。作り方は粉と水、色のついた水をこねながら混ぜ合わせる。色は赤・黄・緑の三色。混ぜ合わせたら、なかにきなこを包んで自分の好きな形に作っていく。お餅が形作られたら蒸して完成。お餅が蒸し上がるのを待ちながら夜ご飯へ。この日の夜ご飯はホテルのバイキング。キムチとかプルコギを食べて、20:00 頃から Drinking party～！ここでできあがったお餅がお酒のおつまみに^^少しべちゃっとしてたけどおいしかった～。飲み会の中盤、いきなり音楽がガンガン鳴りだしてミラーボールとかもでてきて、みんな踊り出してクラブみたいな常態になっててめっちゃ面白かった。そしてこの日も深夜まで飲み会はつづく…（坂口晴子）

▼４日目（２月２３日）

この日はちょっと長旅・・・そして世界遺産の沸国寺、大河ドラマの舞台となった記念公園をまわりました。んー、韓国の歴史を勉強した日と言えるでしょう。寺では庭園、恋人たちのパワースポットなどあり、みんなで羨ましがってました。記念公園では面白い銅像、お化け屋敷など遊ぶ場所多くみんな活動的でした。夜も相変わらず楽しかったなーー

ー。。（森井圭一朗）

23 日はまず世界遺産の仏国寺に行きました。仏国寺は慶州にある仏教寺院で日本などにあるお寺とにたような雰囲気を感じました。
風景や建築物がとても綺麗でした。なかでも印象に残ったのが、仏国寺の本殿である大雄殿と多宝塔です。多宝塔は国宝にも指定され韓国のお金にも描かれていました。
　その後平和記念公園に移動しました。ここは新羅をテーマにして昔の建築物などが再現され、体験できる場所でした。日本語の案内もわりと充実していて、日本人で来る人も多いのかなと思いました。
ドラマのセットなどに使われることもあるそうで、花より団子の記念写真もはりだされていました。一周するのに時間がかかり、とても広かったです。
　その日その後韓国の伝統料理をみんなで食べに行きました。K.J.S.C.の中では一番豪華な料理屋さんだったように思います。とても多くの種類の食事が並べられて、そこからみんなで自由に少しずつ食べるという形でした。韓国料理を食べるときはいつもすごく多く量がでてそこからみんなでシェアしてたべるという形なんだなと思いました。辛いものは比較的にすきなのでとてもおいしくいただけて良かったです。
　このように２３日は主に歴史を体験した日でした。（青木朝美）

　今日も昨日の酒がまだ抜けてない状態でバスに揺られ、国立公園へ。。
昨日も見た光景が今日は３つに見えるのはやはり酒のせいなのか、きつかった。
そんなこんなできつい状態で公園につき、みんなで昼食。ここでも韓国のメンバーと一緒にしょうもないバカな話をしながらご飯を食べるのが非常に楽しい。日に日に日本人、韓国人とも話す会話のりょうもふえてきてやっとみんなと距離がちじまってきたのかなと感じる。
　国立公園に行き、まずやったことは幽霊屋敷に行くこと。しょうもない幽霊やしきでもみんなで行くと楽しさも倍増。
そこからてきとうに分かれて韓国の演劇みたいなもの！？を観に行った。
内容はすべて韓国語のため詳しくはわからないが、見ているだけでも十分に楽しめた。
　その後はいろいろまわりつつ、みんなでおしゃべり。その間、韓国の小学生にもあったがみんなは笑顔で迎えいれられて、私だけむすっとされる始末、つらーいー。。。
　その後は宿に帰り、いつものように始まる飲み会に備える。この日常のようで非日常な生活もあと１日かと考えるといとおしくなるし、みんなと楽しもうと思うとどんどん酒が進み、また今日の朝と同じ状態になるのは目に見えている。しかし、きついが今の思い出にかなうものはないので、飲むしかない。（儀間真和）

▼5日目（2月24日）

K.J.S.C.最終日…ハイキングが予定されていたけどなぜか中止になりお昼ご飯にホテルの近くの食堂に行った。ドングリのサラダと甘酒みたいなものがお昼から登場。刺激的(笑)ホテルに帰ってからは各グループでディスカッションの内容をまとめたり、アドレス交換や写真撮影をやったり各々自由の時間を過ごしました。それから、文化紹介のための準備!そしていよいよラストナイト!
料理もバイキング式で超豪華!文化紹介が終わるまで食べれなくて相当待ち遠しかった(笑)文化紹介では AKB の儀間さんの女装が可愛かった。少女時代チームは茜を筆頭にみんな上手でかっこよかった(＾＾)私たちゴールデン本バーチームは打ち合わせ無しのほぼぶっつけ本番(＾＾;)成功したということにしておこう。韓国側わ女の子達のダンスはめっちゃ可愛かった。光州支部のダンスはクオリティ高かった(°°)そしてそして大邱支部のオパー達のダンスは本当にやばかった…どっかの K-POP アイドル並のかっこよさだった！なんでもコミは
K.J.S.C.の内容よりもダンスに力を入れてたとか(笑)各国今流行りの音楽を紹介できたんじゃないかと思います。その後はラストナイトということもあり皆気合を入れて飲んでました。最初に比べ皆偏りなく仲良くなれて本当に楽しい、一生忘れられない日となりました。（池田早希）

文化紹介の日、つまりラストナイトですね！！いやあ、何を思い出すって、小澤君の美脚と制服着たちっさいおっさんの渾身の AKB…じゃなくて Before the down だよね。(もちろん AKB すてきでしたよ。）それはあとに置いておくとして、この日は夜以外何したか覚えてます？そう、お昼ごはん食べて、ちょろっとディスカッションしただけなんですよね。（え、合ってるよね？）そのあとダンスの練習やらメイクアップ？やらしてるうちに夜になったと思います。そこからはみなさん想うことは、各々あると思います。わたし一瞬だけ SuperStarK の観覧に来てる気分になりましたよ、ほんとに。でも個人的にはカンジュ！２年前も 2PM ですてきなダンスを披露してくれたんですが、今回も衣装びしっときめてダンスもおもしろいしかっこいいし…って感じでしたね＾＾テグの女の子たちも Wondergirls の完成度の高いこと…のんちゃんから聞いた話だけど、テグのメンバーはプログラム内容決めるより先に、ダンスの曲を選んでたとか。気合の入り方が違う！！そして上手い！！もう一回見たいなあ。わたしたち日本側のダンスは楽しく可愛く、といったテイスト？（笑）で、こっちはこっちで盛りあがったんじゃないかと思います♡♡うん、ダンスうまくなりたい。
そして個人的にはなりますが、この日２年前のテグメンバーCharley とシホンに再会できたことにめちゃくちゃテンションあがりました！まあ去年の K.J.でも再会してるんだけ

ど…会う度にもっともっと仲良くなれてる気がしますね♪みんなも韓国に行くときは、ぜひぜひ時間を作って今回出会えた友達に再会することをおすすめします。ちなみにわたし５月に行きますよ♡んーと、ラストナイトに関してわたしが書くことはこんなもんですかね？？

最後にもう一度、みなさん本当に KJ ではいろいろありがとうございました。楽しかったです♡♡また日本で遊びましょう＾＾（菅原彩織）

24 日の昼食はホテル近くの食堂で韓国の伝統料理を食べました。身体に優しい麺料理とサラダで、遅くに起きた私たちにはうれしいごはんでした。サラダやカルクックスという麺料理は見たことのない料理でしたが、一緒に食べていた韓国人メンバーがひとつひとつ料理の説明や、食べ方を教えてくれ、おいしく食べることができました。これは普通の旅行ではなく、K.J.S.C.だからできることだなあと感じました。

昼食後はホテルの玄関前で集合写真を撮りました。プログラムが始まってから、K.J.S.C.が終わることなど考えられないくらい楽しかったので、この時初めて「明日には K.J.S.C.が終わってしまうんだなあ」とさびしく感じました。

記念撮影が終わると、最後のディスカッションと、連絡先の交換をしました。「また遊ぼう」とか、「日本/韓国に来たときは連絡してね」と言いながらしていたので、先ほどの寂しさが少し和らぎました。

その後は文化紹介でするダンスの練習と準備で忙しかったです。しかし、韓国人メンバーが日本人メンバーのダンスで使う高校の制服を見て、「着てみたい」と言って、実際に着ていたのが印象的で、予期していなかったところでも文化交流ができたみたいで嬉しく思いました。

文化紹介ダンス本番はすこし音源トラブルもありましたが、大成功したと思います。全員緊張も不安もありましたが、うまく踊ることができました。韓国側の決めてくれたダンスの順番と韓国側のダンスがすごくて盛り上がりました。日本人のダンスの時も掛け声が大きくて、私たちも上手くやれたなと感じました。また、途中から韓国人と日本人を追加して踊ったとき韓国人が楽しそうにおどってくれて、本当に嬉しくて、やってよかったなと心から思いました。

文化紹介で使われた曲はこの K.J.S.C.での思い出の曲になったと思います。たくさんの人数でとても楽しい時間をすごすことができて、本当に良かったです。（片山茜）

▼アフター

1000 枚を超える写真が、私にいろいろと語りかけてきます。韓国で撮った大切な写真達が・・・。

この写真を手にすると、韓国へ発った日のことがまるで昨日のように感じられます。プログラムを含めて 1 ヶ月の韓国滞在。韓国へ発つ日、私の胸は「ついにきた！！」という期待でいっぱいでした。この度、友人と共に 1 週間早く韓国入りをして光州へ A.S.C.で知り合ったメンバーに会いにいきました。楽しかった光州での５日間はあっという間に過ぎ、別れを告げて釜山まで。期待でいっぱいだったはずの私ですが、光州から釜山への道中は虚無感と不安で入り混じっていました。期待以上の体験と、楽しい想い出を手にした今、それも一つの良い想い出となったのですが・・・。

でも、あの不安は一挙に消えたわけではありません。それはひとえに、私を温かく輪に入れてくれたメンバーたちのおかげなのです。

人生初の大邱訪問。大都市をイメージしていましたが、緑がとても豊かなところでした。宿泊施設も山の中にありました。大邱観光や慶州訪問などのプログラム、そして毎晩朝方まで開催される飲み会など、毎日が本当に充実していました。飲み会は素晴らしい交流の場。どんなに疲れていても毎晩参加しました。おかげで、メンバーとも打ち解け、お酒も強くなりました(笑)次はゲームも強くなりたいです！

またこのように、韓国の学生と一つ屋根の下で生活を共にするうちに、現地の人の話の速さと語彙の多様さに、消極的になっていた私の心が、変化していきました。

できるだけ韓国語で話そう！と心から思いました。言葉が伝わるかどうか不安だから避けるのではなく、だからこそ話しかけようと思いました。わからない語彙があれば積極的に質問し、教えてもらったらすぐに実践しました。それと同時に日本についてもっと伝えたい、韓国についてもっと知りたいと思いました。

「もっと伝えたい」「もっと知りたい」この気持ちが、違った文化や習慣を持った人との国際交流において、最も大切なことだと身を持って感じました。言葉が足りなくても、お互いが理解し合おうとし、少しでも分かろうと歩み寄っていくことで、言葉の壁を乗り越え、一人の人と人としての本当の付き合いが出来るのだと感じました。

私はこの度プログラムが終わってからアフターで 17 日間、韓国に滞在しました。まずは大邱で 3 泊。メンバーと一緒に飲みに行ったりカラオケに行ったりしました。その後はソウルで観光や友達との再会、釜山でホームステイなど、たくさんの人と交流し、韓国の文化に触れることができました。また、プログラム中に学んだ韓国語を最大限に活かす良い機会でもありました。私を温かく歓待してくれた友人たちに感謝の気持ちでいっぱいです。

今回の韓国滞在は、私にとって良い刺激となりました。帰国して終わりではなく、この出会いを大切にし、これからも SNS などで交流を続けていきたいと思います。そして再会する日を楽しみに、韓国語も頑張って勉強していこうと思います。本当に最高の 5 日間でした。KJSC メンバーのみなさん、本当にありがとうございました。また会いましょう！（新田裕美）

K.J.S.C.最終日昼過ぎ、その土地で出会った韓国人メンバーと感動のお別れと再開を誓って僕たちはテグを巣立ちました。（なかにはテグに残った日本人メンバーもいたみたいですけど）
ぼくは KTX で移動してソウルで下車しました。
で、ソウルに4日間滞在していたんですが、けっっっこう寒かったかな。テグよりも北に位置していて、マイナス気温やったし。雪も積もってたし。
でもその寒さを吹っ飛ばすためにいろいろとグルメ旅に出かけました。
エネルギッシュな街、ミョンドンではひたすらパックもらいに行きました。←ミョンドンでは化粧品ストアの前でかわいいねーちゃんが無料でパックを配って客を釣っているのですね！
さておき、ミョンドンは繁華街です。飲み屋多しです。てことでマッコリ居酒屋にいきました。実はこれが人生初マッコリでした。見た目は乳白色でトロッとしてるんですがさらっと飲めます。あてのチーズ卵焼きいけてた。かなり気に入ってお持ち帰りもしちゃいました。てへ。
飲んだあとは、インサドンいきました！あのキョンボックンというあほみたいにでかい宮殿の近くですね。インサドンというとこけしとか売ってる伝統的な通りとイメージする方も多いと思いますが、それは幻覚。おしゃんてぃーなスイーツもあります。見た目はカップケーキしかもかわいい、食感は餅という未知なケーキに出会いました。なかなか良いです。あの KARA のギュリも来てます。ぜひこれは行きましょう店名教えます。
そして韓国で有名なホットクや龍のひげなどをほおばりつつ散歩したのです。
晩は、さむげたーん。スープはこってり系、肉厚でした。
そして次の日も昼起き（笑）
昼起きなもんでまず晩御飯から（笑）
カルビとサムギョプサル！なかなかさっぱりしててしつこくなかった。
韓国って肉は豚が主流みたい。スーパーで100グラムあたり40何円くらい！！安い！でも旨い！ビールにあう！（韓国ビールは個人的にはあんまりやった）

以上、食のことつらつらと書きました。
韓国の食べ物は本当においしいものばかりです。
でも、日本に帰国して直行したすき家が正直一番おいしかったかな。（小澤一生）

フリーエッセイ

▼飯田野乃

友達や先輩や面白く気があう方が多かったので楽しい素敵な日々を送ることが出来ました。プログラム中のＫＪラブが沢山あったのが凄く印象的でした。楽しかったです^^毎日毎晩友達と夜遅くまでガールズトークをしたり飲み会をしたりと、夢のような日々でした。Ｊ.Ｋ.Ｓ.Ｃ.とＫ.Ｊ.Ｓ.Ｃ.は名前は似ているにもかかわらずプログラムの内容が正反対というほど全然違い、本当に驚きました。

▼今里基

ギャップ

　あまりお気づきの方は少ないかもしれないが、この KJSC の期間中に日本で日韓関係を揺るがすことが起きていた。島根県で開催された「竹島の日」の祭典だ。「何もこんな時にやらなくても・・・」そんな心境で実は K.J.に参加していた。

　祭典が開催された日、少しだけユースホステルのテレビでニュースを見た。実は大邱は竹島が所属する慶尚北道の中心都市だ。それもあって、ローカルニュースを見ると大邱の市民が抗議集会を行ったことを伝えるニュースが報じられていた。やっぱりなぁという気持ちだった。

　だが考えてみれば学生はあくまでも冷静な気がする。その日の K.J.では韓国の伝統的な餅、ソンピョンを作っていた。その日竹島の「た」の字も会話には出てこなかった。むしろ、話のネタは自分のソンピョンがデカすぎて作り直しになったことの方が注目に値したぐらいだ。

　去年の夏以降、日韓関係は確かに悪化したのかもしれない。でも少なくとも、よほど日韓問題の話をしない限りは何も起きないし、むしろそんなものは関係ないというのが今の若者の認識ではないだろうか。

　ニュースでの激しい「独島」守護の集会と自分の目の前で行う日韓共同のソンピョン作りの空気のギャップに、韓国に何度もいった自分でも驚くばかりなのだった。

▼中山聡

今回 K.J.S.C.に参加しましたが、これは初めての海外プログラムで、海外自体に行くことも初めてでした。海外自体が初めてということで不安もかなりありましたが、様々な出会いがあったので大変良い経験となりました。僕はほかの参加者たちと 5 人でフェリーで韓国まで行きましたが、フェリーの中で出会った韓国人と仲良くなりました。その子は日本語もかなりしゃべることができたので、韓国に関することや、わからないことなどいろいろ教えてくれました。時間のあるフェリーだからこそ出会えたのだと思いました。プログラム中も韓国人参加者とたくさんのことを話すことができました。その中でも特に印象に残っていることは、兵役に関する話です。韓国の男性は兵役があるため、そのことの話を聞いてみると、義務なので兵役に行かなければならないから仕方ないが、日本の人はそのような義務がなくて幸運だと思うと言っていました。そのようなことを話す機会はなかなかないので、大変良い経験となりました。K.J.S.C.に参加してよかったと感じたことは、現地の学生と交流できたことです。ツアーや観光で旅行に行った場合、名所を巡ったり、おいしいものを食べたりはできますが、現地の学生と交流することは難しいと思います。その点、今回のプログラムでは、交流もあり、観光地を見ることもでき、文化を知ることもできて大変良いものとなったと思います。一番の思い出は文化紹介のダンスです。僕たちのグループは「女々しくて」を踊りましたが、盛り上がってくれてよかったです。コスプレもできて楽しかったです。ただ一つ残念だったのは、プログラム中に体調を崩してしまったことです。なので、万全な体調でまた韓国を訪れてみたいと思いました。今回、K.J.S.C.に参加できてよかったです。

▼井上鈴菜

徴兵制度について

私は二年前のK.J.S.C.４７に参加しました。そこで仲良くなったメンバーの中に、プログラム後すぐに兵役に行かなければならないという男の子たちがいました。「がんばってね」そう言って別れたのはついこの間である気がします。

あれから二年たった今回のK.J.S.C.５１で、兵役を終え、外見も中身も断然たくましくなった彼らと再会を果たしました。「ついこの間である気がします」私はこう感じてしまいましたが、彼らにとっての兵役の二年間は私には想像できないくらい長く厳しい時間だったのだろうと思います。

兵役の期間は陸軍が約２年２ヵ月、海軍が約２年６ヵ月、空軍が約３年程度と異なりま

す。ほとんどの人が陸軍に配属になるようですが、海軍と空軍は志願制だそうです。また、海軍の特殊部隊である海兵隊は、軍隊の中でも上下関係が特に厳しく訓練が過酷なことから、そのステイタスは韓国国内で一目置かれているほどだそうです。韓国には、「男は軍隊に行ってこそ一人前」「国防の義務を果たしてこそ韓国男児」という意識が強くあり、軍生活を通じて愛国心や家族への愛、自立心など多くのことを体得するという考え方が浸透しているようです。

普段、日本で生活していると軍隊や戦争とはあまり関わるような機会はないですよね。韓国と北朝鮮が「休戦中」という事実を改めて感じさせられます。また、韓国人メンバーとどれだけ仲良くなっても、国レベルで見ると日本自体も、韓国にとっては決して仲間、味方というわけでもないことも忘れてはいけないと思いました。学生の間にできる小さな交流での異文化理解や友情が、今後国家間での平和に少しでも役立てばいいと思いました。

▼神田ありさ

Ｉ.S.A.での初めてのプログラムだったし、九州の１回生では１人だったので不安が大きかったです。また初めての１人での海外だったのでみんなと合流するまで不安しかなかったけど、合流してからは楽しいことしかありませんでした。他支部の１回生も仲良くしてくたり、同じ九州支部の先輩方がいつも気にかけてくれたり、他の支部の先輩方も気さくに話かけてくれて、このプログラムを通して、人に恵まれていると感じました。このメンバーだったから毎日楽しい時間を過ごすことができました。韓国人の人たちもノリがよくて、積極的に話しかけてくれて、初日はあまり話すことができなかったけど、人見知りの私も２日目からは次第に話すことができるようになりました。でも、ディスカッションの時には、自分の英語力のなさに愕然としたので、今度プログラムに参加するときは、英語をもっと勉強してから参加したいと思います。

プログラム後も、日本人メンバーや韓国人メンバーと連絡を取っています。たった６日間で、そんな関係を築けてよかったです。これからもこの関係を維持していきたいと思います。そして韓国に行ったときにまた会うことができたらいいなと思います。日本人メンバーの間では、第１回のK.J.会が開かれたので、また第２回も開いてほしいです。次のK.J.会には参加したいと思います。楽しい思い出をありがとうございました＾＾

▼浅野雅菜

今回初めて韓国に行きました。一番よかったと思ったのは韓国コスメです。化粧品店の数の多さにびっくりしました。価格も安くって気軽にいろんなものが買えてよかったです。勉強会で韓国コスメがいいと聞いていたので、少し期待していたましたが、予想以上にはまってしましました。化粧品店のお店の雰囲気もかわいくて、見ていてほんとうに楽しかったです。

韓国の料理も好きになりました。すっごく辛いのを想像していたんですが、辛いものが苦手な私でもおいしく食べれるものがたくさんありました。キムチは店ごとに微妙に味が違ったりして、おもろかったです。キムチやナムルなどはおかわり自由だったのには驚きました。日本のキムチより酸っぱいなと感じました。鶏のから揚げもほんとにおいしかったです。バスケットに入った骨付きチキンは安いのに、ボリュームも満点でいい感じでした。

今回、私はプサン、大邱、ソウルの三都市に行ったのですが、どの都市も特徴的で面白かったです。特にソウルは日本人観光客も多く訪れる場所なので、日本語が通じたり、客引きが日本語だったりしました。街を歩いていても日本語がちらほら聞こえてきたりしました。

▼藤井千賀

旅行はよく行くけど、こんなに外国人とがっつり交流をしたのは初めてでした。K.J.に行く前、日本人のみんなは韓国好きが多かったので、韓国でみんなについていけるか結構不安でした。辛い物苦手だし。でも、韓国の人たちは気さくで、向こうから絡んできてくれるなど気を使ってくれて、とても助かりました。

そこで思ったのが、英語もお互いあやふやだったりする中、通じ合い、仲良くなることができたのは、お互いに気持ちが向き合っていて理解しようとする意思があるからだということです。とても基本的なことだけど、伝わらないことを怖がって伝えようとしなければ、何も変わらずお互い理解できないままだなって、このK.J.中によく実感しました。
実際、私は最後のほうになるまで怖くて、韓国語が話せる子によく頼ってしまったけれど、相手が理解しようとしてくれていることを信じてもっと早くから頑張ればよかったと思っています。

次に外国の人と交流するときは、最初から怖がらないで積極的に行きたいです。
あと、英語もちゃんと勉強しなきゃなって思いました(笑)

▼石井志帆

Ex.に参加する前に自分で決めたテーマはどのようにしたら相互理解ができるのかでした。結論としてはやはり直接のコミュニケーションだと思いました。確かに、言葉も生まれ育った環境も違う中、コミュニケーションだけでは完全に理解することはできません。しかし、話をすることで相手の考え方、生き方を受け入れることはできると思いました。多くの人と会話することで、自分の視野がどんどん広がり、世の中が多様であることを受け入れられるようになっていくとわたしは感じています。Ex.では深い話などはしなかったのですが、プログラム終了後、わたしは一泊ホームステイをさせていただきました。韓国人２人、日本人２人で朝方まで語り合っていました。話題はさまざまで、Girlstalk から自分たちの大学のはなし、ドラマやアニメのはなし、夢のはなし。一番心に残っているのは、国のはなし。韓国のひとが中国に対してどう思っているのかを話してくれたとき、日本の状況とあまり変わらず、メディアが大騒ぎしているような印象を受けました。韓国に来ることを両親はどう思っているの？と問われたときはびっくりしました。わたしの場合、たぶん心配はしてくれていましたが、それは韓国だから、という理由ではなく外国だから、だと思います。実際、母親が韓流にはまっているのでわたしのことをうらやましいと言っていました。でも、もし韓国のともだちが日本へ来るとき、ご両親がどのような反応をするのかは気になります。日本と韓国は距離的には近いです。だからこそぶつかり合うことも多いのかもしれません。やはりわたしは相互理解を進めるために、コミュニケーションが大切だと考えます。

▼小山透

正直不安いっぱいで始まった K.J.S.C.。韓国大好き人間ではない僕は周りのわくわくとの違いにちょっと違和感を感じてました。でも大邱に着いてからはその不安は吹っ飛びました。日本人も韓国人もおもしろい人ばっかりで一日があっという間にすぎて。英語や韓国語はできるにこしたことは無いけど、言葉の違いもニュアンスで何とかなる！それに伝えるための英語をがんばろうっていうモチベーションのきっかけにもなりました。ただ食べるものだけはけっこう辛かったです。（「からい」じゃなくて「つらい」です。）つぎ行くなら醤油は持っていかないと。

それと、飲みニケーションはすばらしいということ。他グループの韓国人とはあんまり昼間は話せなかったけど、晩に飲みながら遊んでるとほんとに仲良くなれた。一番大事なのは飲むことじゃなくて一緒にいること。これはずっと同じメンバーでいるからこそできるK.J.ならではのことだと思う。こういうのを体験してみて韓国プログラムに何回も行く人の気持ちが理解できました。今回の K.J.でできた友達が A.S.C.に参加するとなれば、すごく

行きたくなる。深いつながりをひしひしとこういう風に思わせてくれるプログラムに参加できて本当によかったです。

▼坂口晴子

勉強会でファッションについて調べたのでここでもファッションについて書かせていただきます^^

今回 K.J.に参加して学んだことの中にファッションについて学んだこともありました。韓国ファッションの特徴であるシンプルな服装であったり、上半身は割と大きめで下半身はスリムな服装が多いというのは今回の韓国人メンバーのファッションを見ていても感じましたが、ほかにも韓国人はブランド物を好む傾向にあるというのも感じました。とくにそのブランドのロゴとかが大きく入ってる服を着ている人が多く、今はアバクロやHollister、north face が人気だと言っていました。

また韓国人は女の人でもスニーカを履く人が圧倒的に多いですが、そのなかでも特にニューバランスのスニーカーを履いている人を多く見かけます。歩きやすさを好んで履く人もいると思いますが、あの N のマークが入ったものを履きたい！と思って買う人も多いと思います。

外見を重視する傾向にある韓国社会で、少しでも自分のステータスを上げてみせるためにブランド物を身につけることがファッションの一つになっているのだなと感じました。

▼儀間真和

題：ミョンチョルの話

今回 Ex.に参加して特に仲がよくなったと自分ではおもっているミョンチョルから聞いた徴兵の話を書きたいと思います。

皆さんもご存じのように韓国には２０歳から３０歳までに徴兵に２年間いかないといけません。このミョンチョルも２年徴兵に行き、かえってきました。

全部ミョンチョルから聞いた話なので全部が全部ほんとではないのかもしれませんがとりあえず。

徴兵にいって階級というものが韓国にはあるそうです。その階級は軍人が着ている服の二の腕の部分に記されている。在籍している期間で腕の線が１本から２本、３本と増える。階級にともない日本と一緒で軍隊のなかでも序列がうまれている。やはり最初はいじられたり、パシリさせられたりなど世界って広いようで考えることは同じなんだと少し残念でした。実際そこでいじめにあったりして鬱になりかけたと韓国人のたかし（名前なんだっけ）が言ってた。それほどきつい軍隊でもやはり本人には貴重な２年であり、その２年間に自分の人生などいろいろ考えたりでき、有意義だとも言ってた。

それは日本のように高校を卒業したらすぐに大学に行き、就活と時間にばかり追われている日本人の私にとってそういった時間の大切さが非常にうらやましかった、訓練とかはい

やだけど。だからこそ韓国の男性はみんな同じ学年でも落ち着いていて、日本人の女性にとっては魅力的なんでしょうね。

▼森井圭一朗

今回の K.J.は僕にとって記念すべきもの、というのも I.S.A.のプログラム初参加であったからです。海外に友達をたくさん作りたいという気持ちで I.S.A.に入った僕にとって Ex.はその目的に一番直結するものであり出国前自分はそのことだけに気持ちが傾いていたのかもしれません。韓国は日本の隣国であり文化に大きな違いはありませんが、人の違いというものは感じました。

さて、プログラムの内容ですが exciting という言葉で表すのが適切なのでしょうか？？歴史的建造物、商店街、公園などグループごとに散策、綿密に計画されていた分韓国メンバーは常に日本人メンバーが楽しんでいるか気にしているようでした(^^)また、こういった楽しい時間でもお互いの国の問題を語り合ったりすることもできました。

そして今回の K.J.を語るうえで外せないのは夜。。いやーー狂い倒しました。飲みニケーションという言葉が生まれたように、韓国人の真のノリ、日本人メンバーの真の姿を見ることができました。日本に帰ってしばらくはさみしくてしょうがなかったです↓

みんなを幸せにしたこのプログラムは生涯忘れることはできないでしょう。

▼青木朝美

わたしにとって韓国にいくのは今回の K.J.S.C.が初めてでした。韓国については前から興味をもっていたし、K-POP も好きだったので今回いけたということはわたしにとってとても貴重な体験となりました。
韓国の食事や人々など日本と似ているようで似ていない韓国のいろいろな文化を体験することができたと思います。

わたしが一番違うなと感じたのはやはり軍隊についてでした。一緒にすごした韓国の人がほぼ普通に軍隊を経験しているという事実に、知っていたけどやはり実際にきいて実感しました。

K.J.S.C.を通して韓国人に友達とも交流することができ、またもっとコミュニケーションをとれたらいいなと思い韓国語をもっと勉強してみようという気持ちになれました。

普通に旅行にいくだけではその国のよいことや表面しかみることができませんが今回はそのほかにもいろいろ知ることができ、本当に良かったです。韓国と日本にはまだいろいろと解決していかないといけない問題がたくさんありますが、まずその一歩としてその前に相手をよく知るということが重要なのかなと思いました。

▼池田早希

私は今回の K.J.S.C.は４回目の Ex.でした。やはりどの Ex.も同じ交流ではあるけどもそれぞれに特徴があって K.J.S.C.もならではの雰囲気を掴むことができました。一番印象に残ったのは大邱の人達は本当に上下も横も仲が良いこと。特にコミは皆責任感が強く、仕事を全うしていました。K.J.S.C.に行く前、大邱支部は廃部の危機にあるという噂が流れていて心配でしたが、実際にそのようなことはなく、部員もたくさんしていて大丈夫そうでした。今回の K.J.S.C.には光州支部からも４人参加していて、私は大邱支部と光州支部の関わりが非常に面白いと感じた場面がいくつかありました。まずは方言やイントネーション。このことで韓国人同士が言い合いしている姿をよく見ました。また飲み会の際でのゲームを地方でルールがちがったりしていて面白かったです。その様子が九州と関西では方言が全然違う様に、韓国でも違うんだなと思うと方言は日本と韓国のものだけではないけれど、実際に自分でその違いを感じられ面白く思いました。今回の K.J.S.C.では飲み会が多くいくつかの企画がなくなったりということがありましたが、コミュニケーションだけは深く図れたのではないかと思います。ディスカッションなどといった形式ばった中での本音ではなく、フランクな会話の中で学べるものはたくさんありました。K.J.S.C.はソウル支部と年毎で主催がかえあるため、次に大邱支部の人と会うのは２年後となるのは悲しいことだけど、それぞれ支部の特色を生かした K.J.S.C.を今後も開催してほしいなと思いました。

▼菅原彩織

今回で３回目の K.J.でしたが、今までの中で一番ゆるかったかと…（笑）でもゆるかったからこそ、みんなと自由に話したりすることができたので大満足♡いろんな再会も果たせて改めて I.S.A.のつながりに強さを感じましたよー。今までの K.J.では韓国メンバーは年上ばかりだったけど、今回は同い年の友達ができたのが本当にうれしかったです。ジョンミンが I.S.A.じゃないことは帰国してから知ったけど(笑)帰国後も定期的にカカオくれたり、FB で連絡してくれたり…とほんとにほんとに幸せです♡個人的にはミレニアムパーク？が一番たのしかったと思っています。韓国らしい一面に触れられて、韓国人に一歩近づけたきがしました。そして人生初めての弓道！！まあ一本も的に当たらずじまいでチケット買ってくれたおっぱや教えてくれたおっぱに申し訳ない…あと施設のおじさん、不器用な日本人ですんません。

とまあ、２１歳のおばちゃん脳みそではこれくらいしか思い出せません…みなさんのエ

ッセイと日記を見てまた思い出に浸ろうと思います。

▼片山茜

韓国に行く前、私は本当に不安でした。私はこのK.J.S.C.がI.S.A.に入って初めてのプログラムだったからです。友達同士で海外にいったり飛行機に乗ったりするのも初めてだったし、言い表しようのない気持ちでいっぱいでした。しかし実際、勉強会の時点でとても楽しかったし、K.J.期間中はもっと楽しかったです。

また、日本では韓国についての情報が正しいものも正しくないものも溢れていて、どの情報を信じたらいいのかわからないように思います。反日派がいるのは当たり前のことと思いますが、それがどの程度のものなのかなどはわかりませんでした。しかし道で困っていると声をかけてくれる方はたくさんいたし、日本人だからと嫌な思いをすることもなくて、自分が体験することが大切だと感じました。それと同時に、まだ私が知らない韓国のいい部分も悪い部分もあるのだなと思いました。

K.J.で韓国人メンバーと仲良くなれたのは当然嬉しいことですが、日本人メンバーと仲良くなれたのもすごく嬉しいです。日本でも一緒にごはんにいったり次遊ぶ予定をたてたり・・・。

私にとってこのK.J.S.C.は、多くのことを学べ、さらにI.S.A.をもっと好きになれた良いプログラムでした。メンバーにはいろいろお世話になり、本当に感謝しています。しかしまだみなさんと交流し足りないと感じます。だからこれからもプログラムで会いたいし、ごはんもいきたいです。また、韓国人メンバーと日本人メンバーと一緒に遊べたらいいなとも思います。

これからもI.S.A.を通して、学生生活を充実させていきたいと思います。

▼新田裕美

韓国の食文化と礼儀

韓国と日本の食文化は、似ているようで似ていない。米が主食であり、お箸を使うという点は日本と共通している。しかし、韓国ではご飯や汁物の食器は手に持たずに匙で食べるのが礼儀とされている。それは、韓国では鉄や陶磁の食器が発達し、それらを手に持って食べるには重くて熱く、不便だからである。実際、ご飯が入った器を手に持とうとすると熱くて持てなかった。また、韓国の食器の底は広く安定していてひっくり返らないようになっている。

お酒を飲むときのマナーも韓国と日本では少し異なる。日本では目上の人が前に座っていても、正面を向いて飲んでもかまわないが、韓国では目上の人の前でお酒を飲むときは、体あるいは顔を少し横に向けて飲むのが礼儀。これは大人だけでなく、実際に大学生の先輩と後輩の間でもごく自然に行われていた。この光景を目にしたとき、韓国の社会には今

でも儒教の教えが生きていることを実感した。また、お酒を注ぐときはビンを右手で持ち、左手を右ひじに添えるか、胸に軽く当て、お酒を受ける時もグラスに手を添えて必ず両手で受け取っていたのが印象的である。

学生同士でも先輩、後輩の上下関係が日本よりはっきりしていたのも大変印象的である。このように韓国と日本では似ているようで似ていない部分がたくさんあるということを学んだ。

▼植村侑希

私は一年間韓国で生活していたので、改めてここにびっくりした！といったような大きなカルチャーショックなどはありませんでしたが、K.J.では韓国の学生とディスカッションで意見を交わすということが一番新鮮でした。

テーマについて韓国人と日本人で意見を出し合い話し合うという経験はしたことがなく、お互いの考え方の傾向についてなども知れてとてもいい経験になりました。

あと驚いたことといえば、韓国の大学生はみな普段から結構な量のお酒を飲むのでお酒に強い子が多いのですが、飲み会で日本人参加者がみんなそれと同等にお酒を飲み、しかも強いことに驚きました。

結果日本人も韓国人もあまり変わらないと いうことかもしれません。

K.J.S.C.ではディスカッションだけでなくいろんな楽しいこと盛りだくさんなのでぜひこれからもみんな参加してほしいと思います。

▼安保夏絵

ことば、通じ合えることについて。

「英語で頑張ろう。せっかくの日韓交流だよ。」

今回の K.J.S.C.で私が最も感銘を受けたというか、なるほど。と思った言葉です。確かに K.J.S.C.は公用語が英語であっても、韓国語が何となく分かっている子とか、スタッフの子がやりくりするのには韓国語、英語を話す事に億劫な私みたいな人にとっては日本語を使ってしまうのが一番楽なわけで。でもそんな中でノンバーバルなコミュニケーションでも何とかやっていけるよ！みたいな事までちゃんと言ってくれるメンバーが居て、私も伝わらないもどかしさと、上手く話せない自分に憤りを感じることはあっても頑張って話そう！という気になりました。期間中考えたのは、日本と似ているようで全くと言って良いほど異なる文化を持つ韓国人のメンバーと、寝食共にして一緒にテグを楽しんだり、飲み会をしたり、真面目にディスカッションしたり出来るのって当たり前のようで実はすご

いことなんじゃないかなと思いました。北朝鮮の件もあって不安定な国際情勢であったり、戦時中にあった日韓の２国間の確執とか、国家間同士のことは関係なく確かに英語を通して異文化交流できたのは本当に学生団体の醍醐味だと思います。いずれ社会人になったらプライベートでこんなに楽しくて意味のある経験て滅多にできないんじゃないかなと思います。だからこそ、参加して良かった。本当にそう思えます。また、それだけでなくもっと英語や韓国語も頑張ろうと思えました。言語が違えばちょっとしたニュアンスの違いで勘違いして傷ついたりすることもあるとは思います。でも、通じ合えた時の喜びはそれ以上に勝って大きいものになるんじゃないかなと。今４回生で人生の岐路に立たされてる最中ですが、韓国でできた、かけがえのない思い出を糧にしてちょっと進路に向けて頑張ってみようと思います＾＾（最後のプログラムとしてまた来春参加したいな…。）

▼山田萌美

平和への第一歩。
私がこの K.J.S.C.に参加しようと思った理由は、なにより韓国の友達を作りたいと思ったからです。
料理やドラマ、音楽が好きで数年前から韓国に関心がありましたが、その中で韓国内の反日問題や日本での嫌韓意識に触れる機会が多く、悲しい思いをしてきました。日本の人に韓国の良さを伝えたい、韓国の人に日本の良さを伝えたい、そんな風にずっと思ってきましたがなかなか実際に韓国の人と触れ合う機会がありませんでした。K.J.S.C.ではまさに実際に韓国で、韓国の人たちと生活を共にできるので、一緒に日韓関係について考え、お互いの良さまたは考えの違いを伝えあう良い機会だと思いぜひ参加したいと思いました。
実際にこの K.J.S.C.を通して一番感じたことは、韓国の学生も私たち日本の学生と何ら変わりがないということです。ただ同じように毎日勉強して、遊んで、そして多分私たちが考えているのと同じように日韓について感じていて…。これまで少し、「日本人」「韓国人」と無意識に気にしてしまうことがあったのだと気付くと同時に、その先入観が消えていった気がします。
また、これまで私が、韓国のドラマやアーティストを通して感じてきた韓国観、例えば、愛国心や仲間意識が強いところ、年上を敬う文化、強い女性像、やさしい男性像、そういった事柄に関しては今までの認識を否定されることなくさらに強めたことがほとんどでした。
さらに具体的に言うと、年上の男性を「おっぱ/ひょん」、年上の女性を「おんに/ぬな」と呼ぶ親しみを込めた表現は日本にはない概念だと思います。日本語ではお兄ちゃん、お姉ちゃんと訳されることが多いですが、決して正確な訳は付けられない言葉であり、とても面白いと感じます。また、みんなで箸をつついて分け合う料理が多かったり、お酒を飲む

習慣が強く感じられたり、他人との距離がとても近いと思います。恋愛観について話していた時には、その情の深さからやはり個人的には“重い”恋愛が多いのかなと感じてしまいましたが、そういった面も含めて韓国についての理解が深まった気がします。
K.J.S.C.で得た体験、そして何より日本にみんな・韓国のみんなとの友情はかけがえのないものです。こうした機会を与えてくれたI.S.A.に本当に感謝しています。そして、交流からはじまる世界平和への貢献を、身をもって感じ、プログラムの有意義さを実感しました。
ただ、韓国に興味のない人むしろあまり良いイメージを持っていない人にももっとこういった経験をしてほしいというのが私の願いです。私の周りにも韓国や韓国人に悪いイメージを持っている人が沢山います。けれど、そうした人たちは自分の体験として得ていることが少ないと思います。まず、私たちが自分の経験を広く伝えていくことで、少しでも相互理解が進めば良いと思います。
本当にありがとうございました(*^^*)

▼姫野玲

「日本人と韓国人」
　私にとって韓国のEx.プログラムは２回目でしたが、今回もこのプログラムを通して出会った人に感謝しています。プログラム中も韓国人メンバーが私たちが本当に楽しんでいるか心配してくれたり、コミのメンバーもたくさん話し合いをしてくれたり、色んな人のおかげで楽しむことができたプログラムだったと感じています。
　ディスカッションの時間は、私たちのグループでは男の人と女の人の違いについて話したのですが、共感できる話題がほとんどで、男女の思考や行動について、日本人の考え方と韓国人の考え方は似ている部分が多いと感じました。
また、韓国人はダンスが苦手な人はほとんどいないんじゃないかというくらい本当に皆ダンスが得意でした。文化紹介では何カ月も前から練習に取り組んでいると聞き、クオリティの高さには圧倒されました。
更に韓国人は、先輩や年配の方をとても大切にしています。バスの中でも、韓国人男性はすぐにお年寄りに席を譲って、そのあとは女性が座って、最後に自分が座っていました。また、友人も大切にしていて、日本人にはもちろん、韓国人同士でも気遣っていました。
　K.J.の韓国人メンバーも同士でも、初対面だった人もいたようですが、本当にみんな仲が良さそうでとても楽しい雰囲気でした。騒いだり走り回ったり、飲み会ではサンダーバードを６号も７号もやったり、、、(笑) 韓国人と日本人は似ている部分は多いといっても、日本ではなかなか見ることのできない光景を見れたり雰囲気を味わうことができました。英語で伝えたいことを話すのは難しかったけど、これからも連絡を取ってずっと友達でいれたらいいなと心から思います！

▼村上昂平

K.J.S.C.2 回目、韓国プログラム全体では 4 回目の参加になりました。自分が海外に興味を持ったきっかけが韓国プログラムで何度言っても本当に楽しいプログラムだと思います。去年の K.J.S.C.にくらべ観光よりも交流がメインにおかれている感じで、たくさん韓国人の学生と交流できてほんとに楽しかったです。海外に行って外人と話すとき、英語力よりも話題に困ったりするんですが、韓国プログラムは毎回飲み会やアルコールゲームもあり、話題には困りませんし、言葉なしでの交流もできるので、英語が苦手な人でも気軽に参加できるいいプログラムだと毎回思います。韓国と日本って近いようで、文化が全然違うなということを毎回思います。日本というよりアメリカに近い感じが・・。それについて話してみたり、日本にないいいところを韓国はたくさん持ち合わせているところに本当に魅力を感じます。また機会があれば韓国プログラムに参加したいです。

佛國寺
KJSC51th
elcome to KJSC 51th
2013. 02. 20 ~ 2013 02. 25

Welcome to KJSC 51th
KJSC 51th 오신것을 환영합니다.
2013. 02. 20 ~ 2013. 02. 25

編集後記

▼山田萌美

K.J. Sick からやっと解放された新学期…再び K.J.のこと、みんなのことを懐かしみながら作業しました＾＾他己紹介を担当したのですが、”お、みんな同じこと思ってたんだな♪”とか”うんうん、そんな感じ♪”とかひとりでにやにやしてしまいました（笑）この縁を大事にしていけたらいいな…としみじみ感じています(*＾＾*)

▼植村侑希

報告書つくりながら写真の資料集めるためにいろいろ見直してたら懐かしくなってあの初日の２月２０日に戻りたくなりました。(笑)　ランキング集計なんか見ててもその当時は知らなかったけどみんなこういうこと思ってたのか、へ～(笑)ってなって楽しかったです(^_^)ほんといろんなこと盛りだくさんで楽しかったなあと今でも思い出せるのでまた機会があれば参加したいです。ありがとうございました。

▼姫野玲

K.J.のしおりや写真を見ていると１日、また１日と楽しかったことが思い出されてきて今とても懐かしい気持ちに浸っています‥！このメンバーで行けたことは一生に一度しかない貴重な経験だったと思います。たくさんの発見と思い出ができたプログラムでした！！この報告書も皆さんの思い出に残るものとなればいいなと思います^^ありがとうございました。

▼安保夏絵

途中吐血するかと思いましたが完成できて感涙です…。皆のエッセイと日記全部読みました。思い出が蘇ってきてなんだか切なくなりました涙。是非是非たくさん方に読んでほしいです。今回の K.J.S.C.メンバーの皆さんの想いがたくさんつまってます。集大成です。そして、報告書係のみんなもお疲れ様です。みんなが居なかったら完成しませんでした。私のスキルがないせいで簡素なものになって申し訳ないです…でも中身がとても重要だと思います！←と信じてます＾０＾

２０１３年４月２６日